

運営施設 Q & A

美山保育園の保育って Q & A

Q：美山保育園の保育ってどんな保育なのか。

A：美山保育園の保育方針は以下のとおりです。

保育方針

“みんなが楽しい保育園を目指しこどもに生きる力を育てるこ
とを目指します。”

- ① 自然環境を生かした保育をこころがけよう
- ② 生き生きと遊べる子どもに育てよう
- ③ 他人も自分も大切にして、命を尊ぶ子どもに育てよう
- ④ 自分の思いを表現できる子どもに育てよう

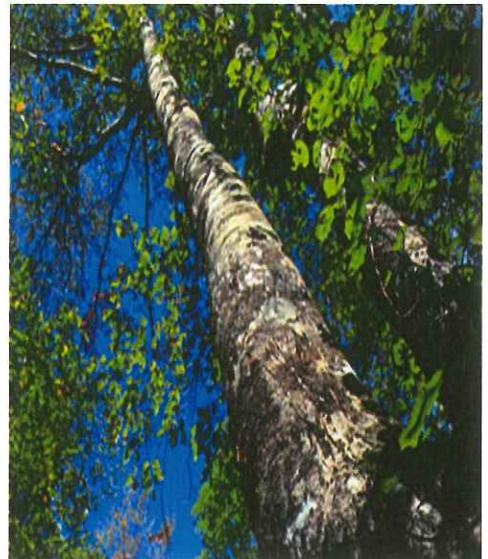
Q：近隣の保育園では自然を生かした保育を謳うところが多く
ありますが

A：近隣の保育園では子どもの成長に関わる大きな要素として
豊かな自然を謳っているところが多くあります。美山保育園と
他園では自然環境と保育の関係が少し異なります。

他園では自然環境が子どもの成長にとって直接的に寄与すると
謳っているところが多いですが、美山保育園は子どもの成長に
関してこうあるべきだということは謳っていません。

美山保育園の保育の特徴として根幹をなす考えが二つあります。一つは子どもの成長力は個々の子どもが潜在的に有しているものと捉えています。二つ目は子どもが元々持っている成長力をどう引き出すかです。ここで重要なのはその成長力を
引き出す保育の環境設定です。これが保育方針の「①自然環境
を生かした保育をこころがけよう」にあたります。常に美山保
育園の保育の背景には豊かな自然環境があるわけです。

先輩の保育士さんは豊かな自然環境を『美山の森』と呼んでいました。『美山の森』というキーワー
ドは今日においても美山保育園の基本となる言葉です。



Q：なぜ山登りをするのですか。

A：美山保育園では課外保育の中に近隣の山・高尾山の山登り、お泊り保育を実施しています。山登りというと「心身共にタフな人間形成」、或いは「目標を達成する」を連想しがちですがそれは美山保育園の保育においては大きな間違えです。

また、保育方針に書かれている「生きる力」というと人間的な強さを連想しがちですが美山保育園の謳う生きる力とは「③他人も自分も大切にして、命を尊ぶ子どもに育てよう」「④自分の思いを表現できる子どもに育てよう」です。一言で言い表すと「豊かな人間性」です。それを「②いきいきと遊べる子どもに育てよう」を実践して行く中から育むわけです。『山登りは豊かな人間性を育むための豊かな自然の中で生き生きとした遊びの実践』に他なりません。

Q：自然に特化した特別な保育なのですか。

A：美山保育園の保育は保育学の分類上は誘導保育になります。誘導保育は日本のフレーベルと言われた倉橋惣三が起源とされ日本型の保育ではスタンダードな形の一つです。保育の環境設定を重視し、子どもの自主性や創造性に富んだ方向へと誘導し潜在的な成長力を促します。その環境設定が美山保育園では豊かな自然環境ということです。また、誘導保育の特徴として決して子どもに対して指導はしないことです。大人（保育者）から子どもに課すことはせず基本は子どもの自主性・創造性に任せます。ただし、生活習慣を身に着けるための善悪の注意はしっかり行っています。

Q：食育の位置づけはどうなっていますか。

A：食育も保育同様に本園の保育環境設定に準じた豊かな自然環境からの恵みを主眼に置いております。当たり前のことですが旬のものを旬の内に食すること、食の背景や栽培に関してそのお手伝いを通じて食べ物を大切にすることを学びます。また、手で触れたり色彩を楽しむ感性を養うなど四季に通じた食育の「学び」を実践していくものとして位置付けられています。

Q：いろいろお聞きしましたが一言でいうとどんな保育園でしょうか

A：美山保育園の実践している保育とは以下のとおりとなります。

美山保育園の保育の環境設定：豊かな自然（美山の森）……前提条件

みんなが楽しい保育園……園としてを目指す形

子どもたちが生き生きと遊ぶ……子どもたちの日常

生きる力を育む……（保育を通して育むもの）

（以下生きる力の詳細、生きる力＝豊かな人間性）

- ・人を思いやる
- ・命を大切にする
- ・自分を表現できる
- ・意思を明確に伝える